

太陽光発電電力の有効活用に向けた電気給湯器の遠隔制御実証試験の実施について

四国電力株式会社ならびに四国電力グループの株式会社四国総合研究所（以下、「四国総研」）は、ご家庭に設置された電気給湯器の湯沸かし運転に太陽光発電電力を用いる遠隔制御実証試験を実施することといたしました。

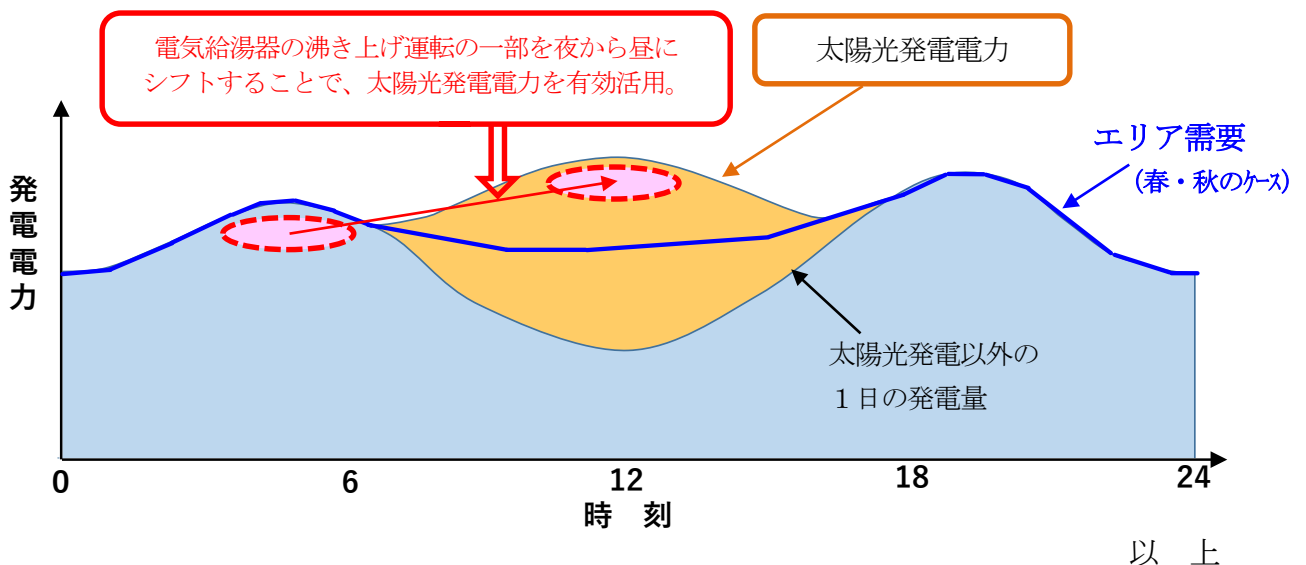
具体的には、気象予報に基づき翌日の四国域内の太陽光発電量を予測し、四国総研が開発したデマンドレスポンス※技術を採用して、通常、夜間に行う電気温水器やエコキュートの沸き上げ運転の一部を翌日の昼間にシフトすることにより、太陽光発電電力の有効活用を図るとともに、電力の需給運用安定化につなげる試験を実施するものです。

今後募集する香川県内（高松市内および中西讃地区）のお客さまモニター40軒を対象に、本年秋より約1年間をかけてデータ収集・分析・評価を行います。

四国電力ならびに四国総研は、実証試験を通じて得られる知見やお客さまモニターからの声を活かしながら、本技術の実用化の可能性検討を行うなど、引き続き、効果的かつ有効なエネルギー活用に向けた取り組みを進めてまいります。

※デマンドレスポンス：電力の需給運用にあたり需要家側の電力を制御すること

◆電気給湯器の運転シフトのイメージ



〔別紙〕 実証試験の概要

実証場所	香川県内（高松市内および中西讃地区）
実証対象	試験対象機種 ^① の電気給湯器（電気温水器・エコキュート）を設置されている個人のお客さま 40 軒 ※条件を満たすお客さまには、別途、ダイレクトメールを当社から郵送し、モニターを募集します。
実証期間 （予定）	令和元年夏～：制御機器取付け等準備、機器動作確認 〃 秋～約1年間：準備が完了したモニター宅から順次実証試験を実施、試験終了後に制御機器を撤去
実証内容	翌日の太陽光発電量予測に基づき、電気給湯器の沸き上げ運転の一部を翌日昼間にシフトさせる、四国総研が開発したデマンドレスポンス技術の確認とその効果の評価、お客さま利便性への影響評価

(概念図)

